



信州サイエンスフェスタ2024

日時：8月3日(土) 10:00~16:00

会場：信州大学理学部 松本キャンパス



参加費~~無料~~♪
予約不要

Welcome to
SCIENCE
WORLD!



夏休みの自由研究相談

自然科学館ツアー

270万年前の巨大クジラ
化石の特別展示

ブース展示

- 水と油の不思議
 - 光の不思議・偏光万華鏡
 - 冷凍庫より早い！？
振って振ってカラフル氷を作ってみよう！
 - 無色の溶液からどんな色の結晶がでる？
 - 多面体の模型づくり
 - 鉱物標本を作ろう
- この他にもたくさんの科学の展示があります。

特別講演

「学校に眠る生き物の剥製標本は
過去の情報が詰まったタイムカプセル」

信州大学理学部 笠原理恵 先生



お問い合わせ(実行委員会)

E-mail: shizen-toiawase@shinshu-u.ac.jp

HP: <https://sites.google.com/view/shizen2024>

主催：信州大学理学部

共催：信州大学理学部同窓会

信州大学自然科学館

信州サイエンスフェスタ2024

開催日時：8月3日(土) 10:00～16:00

会場：信州大学理学部(松本キャンパス) ※水分補給を除いて屋内では飲食禁止です。

ホームページ：<https://sites.google.com/view/shizen2024>



参加人数等の制限を設けずに開催する予定です(予約不要)。

開催内容は変更の可能性があります。最新の情報はホームページをご参照ください。

特別企画

自然科学館ツアー（1時間程度）

時間：第1回: 10:30～受付, 11:00～開始

第2回: 13:30～受付, 14:00～開始

各回先着順20名まで。

理学部C棟 受付でお申し込みください。

270万年前の巨大クジラ化石の特別展示

秋田県から発見された体長15 mを超える大型クジラ化石の実物が見られます。化石は次々発見されており、この発掘、研究のため

クラウドファンディング 支援者募集中

『大発掘プロジェクト

～270万年前のクジラ化石を掘り起こせ～』

期間：2024年5月20日(月)

～7月18日(木)

目標金額：320万円



夏休みの自由研究相談

信州大学理学部の研究者が、皆さんの夏休みの自由研究のお悩み相談に応じます。

時間：13:00～15:00

持ち物：筆記用具

参考になっている本や資料など

特別講演：「学校に眠る生き物の剥製標本は過去の情報が詰まったタイムカプセル」

講演者：笠原 理恵 先生

(信州大学理学部 諏訪臨湖実験所)

時間：13:00～14:00

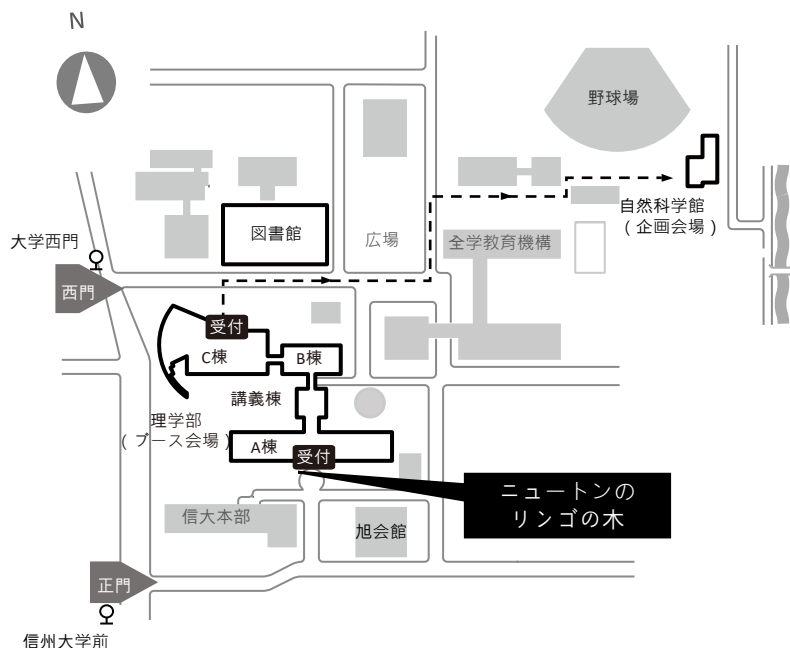
皆さんは博物館などで生き物の剥製標本を見たことはありますか？剥製標本とは、生き物の死体から肉や内臓を取り除いて綿などを詰め、防虫や防腐処理を施し、生きていた時の姿を保存したものです。剥製標本は100年以上も前の明治時代や大正時代には学校で授業に使われていたので、皆さんが通う学校の理科室にもあるかもしれません。現在は使用される機会も減り、時の経過と埃などで少し薄汚れ、怖くすら見えるかもしれませんが、タイムマシンなどで過去に返ることが出来ない私たちにとって、当時の情報をその身に秘めた剥製標本は輝いて見えるくらい貴重です。

近年では、剥製から遺伝子を抽出し分析することもできるようになりました。例えば、ある地域的に絶滅してしまった生き物が、他の地域に残る同じ生き物と遺伝的にどのようなつながっていたのか、調べる事が出来るようになったのです。実際に、剥製標本から得られた地域間の遺伝的なつながりの情報は、過去に一度は絶滅したとされる中央アルプスでのライチョウの復活事業に活かされました。その重要な鍵となった剥製標本は、県内の小学校に所蔵されていたものだったのです。

今回は、高山帯の厳しい環境で生き抜くライチョウの生活をご紹介しますとともに、中央アルプスでの復活事業における剥製の活躍についてお話しします。学校の剥製標本をはじめ、身近なものにはまだまだ多くの大発見の機会が隠れています。

信州大学松本キャンパス

JR松本駅お城口（東口）23番のりばから「信大横田循環線」または「浅間線」に乗車し約15分、バス停「信州大学前」または「大学西門」下車。



ニュートンのリンゴの木

今から350年ほど前、ペストという病気がはやってしまい、ケンブリッジ大学も2年間閉鎖されてしまいました。当時学生だったニュートンもふるさとへ帰らないといけませんでした。しかし、ふるさとでニュートンは研究を続け、その2年間に、微分積分法・万有引力の法則・運動の法則の3大発見をはじめ、プリズムの光の屈折の法則など、歴史に残る発見をしました。万有引力の法則は、ニュートンが庭にあったリンゴの木から実が落ちるのを見て思いついたというお話が伝わっています。そのリンゴの木は接ぎ木されて現代でも生き残っており、そのうちの一本が信州大学理学部の玄関前に植えられています。今年も満開の花を咲かせました。